



2021年6月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月29日

上場会社名 第一カッター興業株式会社
 コード番号 1716 URL <http://www.daiichi-cutter.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 正光
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理課長 (氏名) 木暮 恵介
 定時株主総会開催予定日 2021年9月28日 配当支払開始予定日 2021年9月29日
 有価証券報告書提出予定日 2021年10月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 0467-85-3939

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期の連結業績(2020年7月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	19,337	10.9	2,760	20.2	2,936	18.3	1,743	14.4
2020年6月期	17,440	17.3	2,296	30.5	2,482	34.7	1,523	21.8

(注) 包括利益 2021年6月期 1,939百万円 (18.6%) 2020年6月期 1,634百万円 (27.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年6月期	153.16		13.6	17.5	14.3
2020年6月期	133.86		13.5	17.2	13.2

(参考) 持分法投資損益 2021年6月期 90百万円 2020年6月期 126百万円

(注) 当社は、2021年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	17,991	14,321	75.8	1,197.33
2020年6月期	15,533	12,548	77.1	1,052.37

(参考) 自己資本 2021年6月期 13,629百万円 2020年6月期 11,979百万円

(注) 当社は、2021年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年6月期	1,957	1,594	69	6,610
2020年6月期	2,515	1,699	198	6,316

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年6月期		0.00		12.50	12.50	143	9.3	1.3
2021年6月期		0.00		18.00	18.00	206	11.8	1.6
2022年6月期(予想)		0.00		27.00	27.00		21.8	

(注) 当社は、2021年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2020年6月期の期末の1株当たり配当金については、当該株式分割を考慮した金額で算定しております。

3. 2022年6月期の連結業績予想(2021年7月1日～2022年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,410	1.3	1,332	2.0	1,408	0.5	747	9.4	65.65
通期	18,190	5.9	2,422	12.2	2,569	12.5	1,410	19.1	123.88

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年6月期	12,000,000 株	2020年6月期	12,000,000 株
2021年6月期	616,895 株	2020年6月期	616,868 株
2021年6月期	11,383,126 株	2020年6月期	11,383,262 株

(注) 当社は、2021年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割を行ったものと仮定して、「期末発行済株式数(自己株式を含む)」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

2021年6月期の個別業績(2020年7月1日～2021年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	13,474	13.5	1,667	7.2	1,820	8.7	1,331	16.1
2020年6月期	11,876	9.4	1,555	9.0	1,673	12.9	1,146	11.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期	115.96	
2020年6月期	99.87	

(注) 当社は、2021年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	13,727	11,552	84.2	1,006.41
2020年6月期	12,056	10,327	85.7	899.65

(参考) 自己資本 2021年6月期 11,552百万円 2020年6月期 10,327百万円

(注) 当社は、2021年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済活動が停滞し、企業収益が低水準で推移するなど厳しい状況が続きました。

国内建設市場におきましては、国土強靱化計画等を背景とする公共投資は底堅く推移したものの、民間設備投資は企業収益悪化の影響を受けて縮小する傾向にあり、受注環境は厳しさを増しております。

このような状況下で当社グループは、切断・穿孔工事業、ビルメンテナンス事業、リユース・リサイクル事業の全ての事業において積極的な営業活動を展開してまいりました。その結果、全てのセグメントにおいて売上高が増加したため、当連結会計年度の当社グループ全体の売上高は19,337百万円（前年同期比10.9%増）となりました。また、売上高の増加に伴い、営業利益は2,760百万円（前年同期比20.2%増）、経常利益は2,936百万円（前年同期比18.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,743百万円（前年同期比14.4%増）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(切断・穿孔工事業)

主に高速道路・橋梁改修工事の受注が増加したため、完成工事高は16,898百万円（前年同期比10.4%増）となりました。また、完成工事高の増加に伴い、セグメント利益は3,240百万円（前年同期比13.6%増）となりました。

(ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業につきましては、首都圏を中心に大手デベロッパーの新規案件開拓に努めてまいりましたが、特に、前連結会計年度の第4四半期において新型コロナウイルス感染症の影響を受けて施工が延期されていた案件を、当連結会計年度の第2四半期において集中的に施工していることもあり、完成工事高は430百万円（前年同期比20.0%増）、セグメント利益は41百万円（前年同期比61.9%増）となりました。

(リユース・リサイクル事業)

リユース・リサイクル事業につきましては、中古スマートフォン等の販売に係る新規の顧客開拓に努めてまいりました。その結果、利益率の高い新規顧客が増加したことから、商品売上高は2,009百万円（前年同期比13.5%増）となりました。また、売上高の増加に伴い、セグメント利益は208百万円（前年同期比124.0%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、受取手形・完成工事未収入金及び有形固定資産が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2,458百万円増加し、17,991百万円となりました。

負債につきましては、工事未払金及び長期借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ685百万円増加し、3,670百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ1,772百万円増加し、14,321百万円となりました。この結果、当連結会計年度末の自己資本比率は75.8%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における当社グループの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動で1,957百万円の増加、投資活動で1,594百万円の減少、財務活動で69百万円の減少となった結果、6,610百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動による資金の増加は1,957百万円（前年同期は2,515百万円の増加）となりました。主に、税金等調整前当期純利益が2,782百万円、減価償却費が559百万円、仕入債務の増加が439百万円あったものの、売上債権の増加が1,003百万円、法人税等の支払額が847百万円あったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動による資金の減少は1,594百万円（前年同期は1,699百万円の減少）となりました。主に、有形固定資産の取得による支出が1,825百万円あったものの、有形固定資産の売却による収入が266百万円あったこと等によります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の財務活動による資金の減少は69百万円（前年同期は198百万円の減少）となりました。主に、配当金の支払による支出が143百万円あったものの、長期借入れによる収入が190百万円あったこと等によります。

（参考） キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期
自己資本比率（%）	75.9	74.3	79.3	77.1	75.8
時価ベースの自己資本比率（%）	60.1	117.1	74.9	88.5	85.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（%）	6.6	1.1	2.2	4.0	12.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	421.8	1,327.2	1,311.2	3,751.2	3,676.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

（注2）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

（注4）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

（4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、ワクチンの接種が開始されたものの、感染防止対策としての各国の経済活動制限の影響もあり、本格的な経済回復には時間を要するものと考えられます。

当社グループが主力事業を展開しております建設業界におきましても、民間設備投資の縮小が懸念され、受注環境は厳しくなることが見込まれます。

このような厳しい情勢の中で、切断・穿孔工事事業においては、高速道路・橋梁補修工事、電力関連工事等への営業・施工力強化に取り組んでまいります。リユース・リサイクル事業におきましても、新規の大口顧客の獲得及び市場の拡大をはかり、ビルメンテナンス事業におきましても前期に引き続き高層集合住宅を中心に営業を強化してまいります。

上記の取り組みに加えて、技術力増進のための研究開発投資や人員増加・人材育成のための投資は今後も継続していくため、翌連結会計年度の人件費・管理費も当期比で増加するものと想定しております。

結果、翌連結会計年度の業績見通しは、売上高18,190百万円（前年同期比5.9%減）、営業利益2,422百万円（前年同期比12.2%減）、経常利益2,569百万円（前年同期比12.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益1,410百万円（前年同期比19.1%減）としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、引き続き日本基準を採用することとしておりますが、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,348,273	6,640,123
受取手形・完成工事未収入金	2,538,452	3,576,345
売掛金	101,711	69,568
未成工事支出金	279,695	238,826
商品	42,807	83,622
材料貯蔵品	146,309	150,619
その他	179,528	161,587
貸倒引当金	△6,654	△5,196
流動資産合計	9,630,124	10,915,497
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,425,677	2,341,608
減価償却累計額	△404,889	△456,071
建物及び構築物(純額)	1,020,788	1,885,537
機械装置及び運搬具	3,844,016	4,062,947
減価償却累計額	△3,053,008	△3,276,025
機械装置及び運搬具(純額)	791,007	786,922
工具、器具及び備品	103,543	121,123
減価償却累計額	△77,486	△86,285
工具、器具及び備品(純額)	26,056	34,837
土地	2,106,283	2,434,645
リース資産	157,095	127,290
減価償却累計額	△92,754	△69,896
リース資産(純額)	64,341	57,393
建設仮勘定	55,361	26,344
有形固定資産合計	4,063,838	5,225,681
無形固定資産		
のれん	349,878	279,902
その他	116,588	108,976
無形固定資産合計	466,466	388,878
投資その他の資産		
投資有価証券	819,394	895,810
繰延税金資産	256,197	258,430
長期未収入金	—	215,645
その他	328,003	335,545
貸倒引当金	△30,483	△243,765
投資その他の資産合計	1,373,110	1,461,666
固定資産合計	5,903,416	7,076,226
資産合計	15,533,540	17,991,723

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	553,553	938,693
買掛金	83,988	137,873
1年内返済予定の長期借入金	26,544	13,249
リース債務	26,610	20,787
未払法人税等	502,150	575,063
賞与引当金	74,804	67,100
その他	970,736	1,003,616
流動負債合計	2,238,387	2,756,382
固定負債		
長期借入金	9,790	175,825
リース債務	38,249	36,695
役員退職慰労引当金	236,709	271,426
退職給付に係る負債	340,798	326,491
その他	121,102	103,636
固定負債合計	746,650	914,075
負債合計	2,985,037	3,670,457
純資産の部		
株主資本		
資本金	470,300	470,300
資本剰余金	462,044	462,044
利益剰余金	11,211,507	12,811,515
自己株式	△122,561	△122,604
株主資本合計	12,021,290	13,621,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△24,221	13,764
退職給付に係る調整累計額	△17,781	△5,651
その他の包括利益累計額合計	△42,002	8,113
非支配株主持分	569,215	691,897
純資産合計	12,548,502	14,321,265
負債純資産合計	15,533,540	17,991,723

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
売上高		
完成工事高	15,670,340	17,328,270
商品売上高	1,769,735	2,009,522
売上高合計	17,440,076	19,337,792
売上原価		
完成工事原価	10,362,203	11,613,237
商品売上原価	1,237,857	1,410,776
売上原価合計	11,600,060	13,024,014
売上総利益		
完成工事総利益	5,308,137	5,715,032
商品売上総利益	531,877	598,745
売上総利益合計	5,840,015	6,313,778
販売費及び一般管理費	3,543,065	3,553,005
営業利益	2,296,950	2,760,772
営業外収益		
受取利息	89	104
受取配当金	7,585	8,867
受取保険金	19,485	21,725
持分法による投資利益	126,810	90,710
雑収入	39,675	63,775
営業外収益合計	193,646	185,182
営業外費用		
支払利息	691	532
投資有価証券売却損	—	865
売上債権売却損	6	28
不動産賃貸原価	1,289	2,579
支払補償費	1,872	2,093
雑損失	3,951	3,767
営業外費用合計	7,812	9,866
経常利益	2,482,784	2,936,089
特別利益		
固定資産売却益	3,413	76,282
保険解約返戻金	14,947	32,571
特別利益合計	18,360	108,853
特別損失		
固定資産売却損	13,759	24,135
固定資産除却損	7,483	8,284
投資有価証券評価損	81,021	14,247
貸倒引当金繰入額	—	215,645
特別損失合計	102,264	262,312
税金等調整前当期純利益	2,398,880	2,782,630
法人税、住民税及び事業税	732,527	917,738
法人税等調整額	16,778	△24,324
法人税等合計	749,306	893,414
当期純利益	1,649,574	1,889,215
非支配株主に帰属する当期純利益	125,756	145,718
親会社株主に帰属する当期純利益	1,523,817	1,743,496

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
当期純利益	1,649,574	1,889,215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,846	37,986
退職給付に係る調整額	2,033	12,129
その他の包括利益合計	△14,812	50,115
包括利益	1,634,762	1,939,331
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,509,005	1,793,612
非支配株主に係る包括利益	125,756	145,718

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	470,300	462,044	9,765,869	△122,364	10,575,848
当期変動額					
剰余金の配当			△114,793		△114,793
親会社株主に帰属する当期純利益			1,523,817		1,523,817
自己株式の取得				△196	△196
持分法の適用範囲の変動			36,614		36,614
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,445,638	△196	1,445,441
当期末残高	470,300	462,044	11,211,507	△122,561	12,021,290

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△7,375	△19,815	△27,190	407,660	10,956,318
当期変動額					
剰余金の配当					△114,793
親会社株主に帰属する当期純利益					1,523,817
自己株式の取得					△196
持分法の適用範囲の変動					36,614
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△16,846	2,033	△14,812	161,554	146,742
当期変動額合計	△16,846	2,033	△14,812	161,554	1,592,184
当期末残高	△24,221	△17,781	△42,002	569,215	12,548,502

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	470,300	462,044	11,211,507	△122,561	12,021,290
当期変動額					
剰余金の配当			△143,489		△143,489
親会社株主に帰属する当期純利益			1,743,496		1,743,496
自己株式の取得				△42	△42
持分法の適用範囲の変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,600,007	△42	1,599,964
当期末残高	470,300	462,044	12,811,515	△122,604	13,621,254

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△24,221	△17,781	△42,002	569,215	12,548,502
当期変動額					
剰余金の配当					△143,489
親会社株主に帰属する当期純利益					1,743,496
自己株式の取得					△42
持分法の適用範囲の変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	37,986	12,129	50,115	122,682	172,797
当期変動額合計	37,986	12,129	50,115	122,682	1,772,762
当期末残高	13,764	△5,651	8,113	691,897	14,321,265

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,398,880	2,782,630
減価償却費	503,908	559,114
のれん償却額	41,985	69,975
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	22,878	211,824
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16,437	△7,704
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△125,620	34,716
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△3,017	3,165
受取利息及び受取配当金	△7,674	△8,971
支払利息	691	532
持分法による投資損益 (△は益)	△126,810	△90,710
固定資産売却損益 (△は益)	10,346	△52,147
固定資産除却損	7,483	8,284
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	865
投資有価証券評価損益 (△は益)	81,021	14,247
受取保険金	△19,485	△21,725
保険解約返戻金	△14,947	△32,571
未払消費税等の増減額 (△は減少)	188,224	△88,410
売上債権の増減額 (△は増加)	△30,892	△1,003,035
たな卸資産の増減額 (△は増加)	116,205	△4,255
仕入債務の増減額 (△は減少)	△134,723	439,024
その他	15,899	△136,391
小計	2,940,791	2,678,458
利息及び配当金の受取額	49,804	104,810
利息の支払額	△670	△532
保険金の受取額	19,485	21,725
法人税等の支払額	△520,363	△847,214
法人税等の還付額	26,169	249
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,515,215	1,957,496

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,053,527	△1,825,760
有形固定資産の売却による収入	14,778	266,786
無形固定資産の取得による支出	△40,094	△27,670
投資有価証券の取得による支出	—	△49,398
投資有価証券の売却による収入	3,000	474
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△416,080	—
非連結子会社株式の取得による支出	△248,063	—
保険積立金の積立による支出	△23,044	△22,753
保険積立金の払戻による収入	4,191	5,191
保険積立金の解約による収入	31,759	38,721
その他	27,413	20,099
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,699,666	△1,594,308
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	190,000
長期借入金の返済による支出	△31,370	△37,260
リース債務の返済による支出	△25,969	△35,253
配当金の支払額	△114,843	△143,545
非支配株主への配当金の支払額	△588	△23,036
その他	△25,395	△20,042
財務活動によるキャッシュ・フロー	△198,167	△69,137
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	617,381	294,050
現金及び現金同等物の期首残高	5,698,691	6,316,072
現金及び現金同等物の期末残高	6,316,072	6,610,123

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「長期前払費用償却額」、「未払費用の増減額」及び「未払金の増減額」については、重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「長期前払費用償却額」969千円、「未払費用の増減額」19,504千円、「未払金の増減額」△4,215千円、「その他」△358千円は、「その他」15,899千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、本社で各事業の統括を行っており、「切断・穿孔工事事業」、「ビルメンテナンス事業」及び「リユース・リサイクル事業」の3つの事業活動を行っております。

主たる事業である「切断・穿孔工事事業」は、国内の各営業所単位で事業活動を行っており、子会社の内、株式会社ウォールカッティング工業、株式会社光明工事、株式会社新伸興業、株式会社アシレについては、当社統括のもと、各管轄する地域ごとに「切断・穿孔工事事業」を行っております。

「ビルメンテナンス事業」は、首都圏を中心に事業部単位で事業活動を行っております。

「リユース・リサイクル事業」は、当社統括のもと、子会社の内、株式会社ムーバブルトレードネットワークスが事業活動を行っております。

従って、当社グループは、事業を基礎としたセグメントから構成されており、「切断・穿孔工事事業」、「ビルメンテナンス事業」及び「リユース・リサイクル事業」の3つを報告セグメントとしております。

「切断・穿孔工事事業」は、工業用ダイヤモンドを使用した「ダイヤモンド工法」及び高圧水を利用した「ウォータージェット工法」による各種舗装、コンクリート構造物の切断・穿孔工事事務であります。

「ビルメンテナンス事業」は、集合住宅やオフィスビル等において、給排水設備の保守点検・貯水槽清掃・雑排水管清掃業務であります。

「リユース・リサイクル事業」は、IT関連機器、中古OA設備機器の買取り・回収、データ消去サービス、法人及び個人向け販売、通信機器のオフィス設置サービス等の、リユース・リサイクル業務を行うものであります。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	切断・穿孔工事 事業	ビルメンテナンス 事業	リユース・リサ イクル事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	15,311,694	358,646	1,769,735	17,440,076	17,440,076
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,311,694	358,646	1,769,735	17,440,076	17,440,076
セグメント利益 (注)	2,853,051	25,599	92,890	2,971,541	2,971,541
セグメント資産	12,215,174	324,166	959,315	13,498,656	13,498,656
セグメント負債	2,063,075	58,829	355,319	2,477,224	2,477,224
その他の項目					
減価償却費	452,739	7,587	9,119	469,445	469,445
のれん償却額	41,985	—	—	41,985	41,985
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 (注)2	883,404	16,473	38,357	938,235	938,235

(注) 1. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、新規連結に伴う増加額及びのれんの計上額はっておりません。

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	切断・穿孔工事 事業	ビルメンテナンス 事業	リユース・リサ イクル事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	16,898,047	430,222	2,009,522	19,337,792	19,337,792
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,898,047	430,222	2,009,522	19,337,792	19,337,792
セグメント利益 (注)1	3,240,341	41,437	208,065	3,489,843	3,489,843
セグメント資産	14,270,001	299,605	1,297,450	15,867,057	15,867,057
セグメント負債	2,550,190	65,461	519,794	3,135,446	3,135,446
その他の項目					
減価償却費	492,513	6,852	9,956	509,322	509,322
のれん償却額	69,975	—	—	69,975	69,975
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 (注)2	1,852,422	2,595	7,415	1,862,433	1,862,433

(注)セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(1) 売上高

(単位:千円)

売上	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	17,440,076	19,337,792
セグメント間取引消去	—	—
連結財務諸表の売上高	17,440,076	19,337,792

(2) 利益

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,971,541	3,489,843
全社費用(注)	△685,695	△729,083
セグメント間取引消去	11,104	12
連結財務諸表の営業利益	2,296,950	2,760,772

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る費用であります。

(3) 資産

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	13,498,656	15,867,057
全社資産(注)	2,034,896	2,124,677
その他の調整額	△12	△12
連結財務諸表の資産	15,533,540	17,991,723

(注)全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る資産であります。

(4) 負債

(単位:千円)

負債	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,477,224	3,135,446
全社負債(注)	507,813	535,011
その他の調整額	—	—
連結財務諸表の負債	2,985,037	3,670,457

(注)全社負債は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る負債であります。

(5) その他の項目

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費(注)1	469,445	509,322	40,054	48,641	509,500	557,963
のれん償却額	41,985	69,975	—	—	41,985	69,975
有形固定資産及び無形固定資産の増加額(注)2	938,235	1,862,433	72,240	73,834	1,010,476	1,936,268

(注) 1. 減価償却費の調整額は、各報告セグメントに帰属しない資産の減価償却費であります。なお、賃貸不動産等に関する減価償却費は含めておりません。

2. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る設備投資額であります。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	切断・穿孔工事業	ビルメンテナンス事業	リユース・リサイクル事業	計	
当期末残高	349,878	—	—	349,878	349,878

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	切断・穿孔工事業	ビルメンテナンス事業	リユース・リサイクル事業	計	
当期末残高	279,902	—	—	279,902	279,902

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)		当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	
1株当たり純資産額	1,052円	37銭	1,197円	33銭
1株当たり当期純利益	133円	86銭	153円	16銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,523,817	1,743,496
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,523,817	1,743,496
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,383	11,383

(重要な後発事象)

当社グループでは、当連結会計年度の決算において不適切な会計処理が行われていたことが判明いたしました。これに伴い第三者委員会による調査費用(2021年10月8日に調査報告書を受領)が発生し、翌連結会計年度の決算において当該費用を計上する予定です。本報告書提出日時点における概算額は約174百万円ですが、最終的な計上額は変動する可能性があります。なお、当該調査費用につきましては、関係者に請求する方針であります。